

宇部興産中央病院 広報紙

たんぽぽ

tanpopo

2020年11月

Vol 99号

維新公園メタセコイヤ並木



認知症を画像で診(み)る

画像診断室 室長 小田真一郎

厚生労働省の発表では、2025年には、我が国の高齢者の5人に1人が認知症になると推計されています。この「認知症」とは病名ではなく、病気により現れる症状の総称です。そして、原因となる病気により「アルツハイマー型」「レビー小体型」「脳血管性」などの種類があり、この3種類が全体の85 - 90%を占めると言われています。

認知症の原因は病気ですから、他の病気と同様、早期に診断し、対応することが重要です。さらに原因となる病気が違えば治療法も変わってきますので、どの型(=病気)であるかの鑑別も重要です。この認知症の鑑別に役立つのが、MRI と RI (核医学) の画像による評価です。

MRI では、脳血管障害(脳梗塞や脳出血など)や脳腫瘍などの有無を調べるとともに「VSRAD (ブイエスラド)」という診断支援ソフトを用いて、人の目では解析が困難な、脳の海馬傍回(かいばぼうかい)という場所の萎縮の程度を数値化して評価します。萎縮があるから必ず認知症というわけではありませんが、RI検査と組み合わせることで診断をしやすくなります。

RI 検査では、ごく少量の放射性同位元素を注射して、脳の血流を画像化する「脳血流 SPECT (スペクト)」を行い、「eZIS (イージス)」という診断支援ソフトを用いて血流の評価を行います。「eZIS」は脳の萎縮が現れる前の早期の段階での異常も検出可能です。加えて認知症の各型がそれぞれ特有な血流低下の分布パターンを取りやすいことを利用して型の鑑別の参考とします。検査代が数万円かかることが欠点です。



MRI



RI

VSRAD と eZIS はともに「Zスコア」という数値を算出しますので脳萎縮や血流低下の程度を大変わかりやすく評価することができます。当院では MRI と RI の装置を備えており、1日で両方の検査を行うことも可能です。検査の必要性は医師の判断となりますので、希望されても検査ができない場合もあります。認知症が心配で画像検査をご希望の方は、当院に紹介いただくことができますので、かかりつけの医師にご相談ください。



山本 優里 医師

齊藤 裕之 医師

受賞
おめでとう
ございます



久野 祐樹 医師

第117回日本内科学会講演会 「医学生・研修医の日本内科学会ことはじめ」優秀演題賞 受賞

テーマ：夏季に発熱、筋肉痛、陰嚢腫脹を呈し
ヒトパレコウイルス3型感染症の診断に至った1例

総合診療科 山本 優里

医師4年目にして初めての学会発表でしたが、このような賞を受賞することができ、非常に嬉しく思っております。ひとえに、齊藤裕之先生をはじめとした多くの先生方の手厚いご指導のおかげです。心より御礼申し上げます。

学会発表について右も左もわからない状態から始まりましたが、日本内科学会という大舞台で無事に発表することができ、貴重な経験となったと同時に、当日は全国の研修医・専攻医の発表を聞いて、同世代の医師の医学に対する熱意をひしひしと感じ、大変刺激を受けました。私自身も研修医・専攻医の手本となれるよう、より一層精進してまいりたいと思います。今後ともご指導ご鞭撻の程よろしくお願いたします。

テーマ：重症化ハイリスク因子を持つ破傷風患者に対して
MNZ静注で治癒しえた1例

研修医 久野 祐樹

この度、内科学会総会2020において、優秀演題賞を受賞させていただきました。新型コロナウイルスの影響もありzoomでの発表となりましたが、初めての学会発表でこのような賞を受賞でき嬉しく思います。

今回、自分が発表した破傷風という病気は、誰でもなり得る感染症であり致死率も高い病気ですが、予防可能な病気でもあります。自分の受賞をきっかけにより多くの方に破傷風について知っていただけたらさらに嬉しいです。

最後になりますが、ご指導いただいた先生方や細菌検査部の方々には改めて感謝申し上げます。今後も皆様のお役に立てるように日常診療に取り組んでまいりたいと思います。



指導教官賞 受賞

総合診療科 齊藤 裕之

忙しい診療の中で学会発表の準備をするということは大変なことですが、日本内科学会総会という内科系の最も大きな学会で山本優里先生、久野裕樹先生の発表が評価されたことは、指導医としても大変喜ばしく思います。受賞の背景には、進先生の日常診療に対するたゆまぬ研鑽はもちろんですが、指導医たちの教育・指導体制、患者様を手厚くサポートして頂いた看護師をはじめとするメディカル・スタッフの皆さんの支えがあった上での受賞であることを改めてお伝えしたいと思います。

内科学会での受賞は単にアカデミックな活動が評価されただけではなく、宇部興産中央病院での診療が客観的に評価された結果でもあります。これからも日々の診療の研鑽を忘れず、精進を重ねていきたいと思ひます。引き続き皆さまからのご指導をお願い致します。

当院での新型コロナウイルス感染症発生について

去る9月9日に当院で発生しました新型コロナウイルス感染症の発生につきましては、患者様やそのご家族様、地域の皆様には、大変なご心配とご迷惑をおかけしまして、心よりお詫び申し上げます。

当院では、患者様と職員の安全を最優先して院内感染拡大防止策を徹底していくことに加え、今回の件を踏まえ更なる感染対策を推進して参ります。何卒ご理解とご協力のほどよろしくお願いいたします。



糖尿病週間行事中止のお知らせ

今年の糖尿病週間のテーマは昨年同様に「サルコペニア・フレイル」です。11月9～15日までの間玄関ホールで、糖尿病予防のポスター展示や作成した資料の掲示をする予定ですが、11月12日（木）の糖尿病週間行事は、新型コロナウイルス感染症防止対策のため中止いたします。

<台風10号後の一斉清掃>

9月9日（水）17時より、台風10号後の一斉清掃を実施しました。

今回は学童保育を利用している子どもたちも協力してくれ、総勢33名で、正面玄関回りや第1、2駐車場の枯葉や小枝を中心に清掃しました。ご参加の皆さんご協力ありがとうございました。

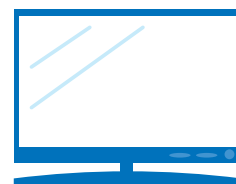


ドクターTVに当院医師が紹介されています！

ドクターTVは市内の熱いドクター、全国の優秀なドクターを紹介するインターネットテレビです。

ドクターTV第4弾として当院の「外科 久保 秀文先生」「整形外科 橋本 貴弘先生」を紹介しています。是非ご覧ください。

<http://dtv.jpa.com/yamaguchi/> または、「ドクターTV 山口」で検索！



【病院理念・方針】

いつでも誰でも安心してかかれる中央病院
常に使命感を持ち協調して行動する中央病院

- 一、医の倫理と良心に従い、より良い医療の提供と医療安全に努めます。
- 一、患者さんの生命の尊厳と権利を尊重し、患者満足度の向上に努めます。
- 一、地域の中核病院として関係する地域医療・福祉機関との連携に努めます。
- 一、経営の健全化と職員満足度の向上に努めます。

発行：地域医療支援病院

医療法人社団

 宇部興産中央病院 地域連携室

宇部市大字西岐波750番地 TEL (0836) 51-9421

印刷：重度障害者多数雇用事業所(有)リベルタス興産